

Aカード 導入ホテルが集会 事業を報告、会員親睦も

キャッシュバックポイントシステムのAカードを運営するAカードホテルシステム(東京都千代田区、田中章生社長)は、

経営者アンケートを基にした分析結果の発表などを行う一方、会員ホテル間の親睦を図るため毎年開かれている。

22日、Aカードを導入する独立系のホテル経営者らを東京に招き「Aカードトップ会」を催した。トップ会は、Aカードの事業報告や会員ホテルの

Aカードは、宿泊金額に対してポイントが加算され、獲得ポイント数に応じて「キャッシュバック」のサービス特典が与えられるもの。その特徴

は、カードの発行からポイント管理、顧客データの集計・分析、

帳票出力までAカード事務センターが支

援し、ホテルスタッフのオペレーション上の手間を軽減する—など。

現在の加盟店舗数は275軒。一般の会員数は約23万人を数える。

当日は田中



事業計画を発表する田中社長

社長から今年度の事業計画などが発表された。具体的には①ホテル向け入会キャンペーンの強化②一般会員向けメールマガジンの配信③Aカード予約サイトのバージョンアップとインターネット予

約一元管理システムとの連携④会員獲得に向けての広告、宣伝活動の積極化—など。

また、同社では、09年11月に加盟した3ホテル

の客室稼働率の推移なども分析した。それによると、それまでの稼働率平均59・1%に対し、加盟後は同88・2%と29・1%改善されたことを紹介した。

同行うホスピタリティパートナーズグループの傘下に入ってから業績が拡大。当時の加盟ホテル約80軒から順調に増やしている。

同社では、11年12月までに加盟ホテル400軒、一般会員数30万人の目標を掲げる。13年末までは「加盟ホテル600軒、一般会員100万人を目指す」(田中社長)という。